

令和2年度オープンに向け整備中です

若者等活動拠点施設(仮称)

市では、「景観まちづくり刷新事業」の一環として、下二之町の「旧村田邸」を活用した若者等の活動拠点となる施設を整備しています。

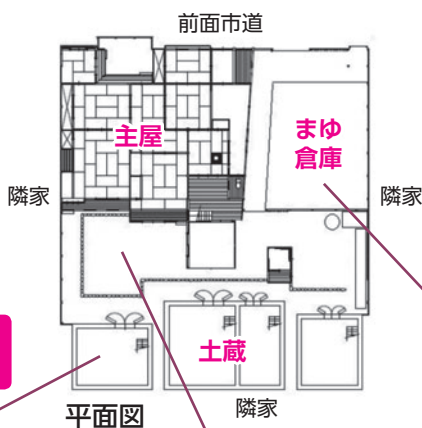
次代を担う若者がまちなかに集い、様々な活動を通じて飛騨高山への誇りと愛着を育むとともに、歴史ある建物の保存と伝統的建造物群保存地区および周辺の美しい町並み景観の維持を図ることに、地域全体の活性化や持続可能なまちづくりに繋げることを目指します。



完成イメージ



位置図



平面図

「旧村田邸」とは

明治8年の大火後に再建された建物を主屋とし、村田半六により繭の卸問屋「村半(むらはん)」として栄え、ほぼ現在の姿となりました。

間口は13間半(約25m)と高山でも最大級かつ空間の多様性に富んだ町家建築で、保存状態もよく、昔の人々の暮らしが随所に偲ばれるたいへん貴重な建築物です。

柳宗悦らによる「民藝運動」とも関わりが深く、郷土画家村田瑞枝の生家であるなど文化的な背景も有しています。

土蔵 様々な目的に活用できる個室空間



中庭 季節感や癒しを感じられる和風庭園、多目的トイレ等



まゆ倉庫 吹き抜けを活かした講義や会議等ができる大空間



【整備方針】

平成29年度より、地元高校生を含む公募市民による検討会や近隣住民との意見交換、大学生の意見などを踏まえ、活用方法等の検討を重ねてきました。

伝統的建造物群保存地区の建物として保存の観点に主眼を置き、検討会などで出された想いや願いにできるだけ応えるよう次の方針に基づき整備することとしました。

- ・市内外の中高校生や大学生を中心とする若者が、歴史文化を体感しながら、自由な発想と行動力を発揮して活動できる施設
- ・様々な目的を持った方が利用できる貸出スペースのほか、市民や観光客等が立ち寄っての休憩や、伝統的建築物などの見学ができる施設
- ・高山祭の祭礼行事の舞台となり、伝統文化の保存継承に寄与する施設
- ・伝統的建造物群保存地区にふさわしい良好な景観、建物の歴史的価値に配慮した施設

【整備等スケジュール】

- ・令和2年3月の完成を目指し、整備を行います。
- ・工事中は、前面市道の日時を限った通行止めなどご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。
- ・令和2年度より供用開始の予定です。

【問合せ】 企画課 ☎ 35-33331